



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社  
 コード番号 3945 URL <https://www.superbag.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)樋口 肇  
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)鈴木 崇之

TEL 04-2938-1244

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,780	△3.0	△67	—	△69	—	△66	—
2022年3月期第1四半期	5,958	△8.2	△195	—	△177	—	△139	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △51百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 △81百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△43.55	—
2022年3月期第1四半期	△91.30	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,353	2,402	17.9
2022年3月期	13,779	2,453	17.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,388百万円 2022年3月期 2,441百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点での2023年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	△1.7	60	—	30	—	10	—	6.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,686,154 株	2022年3月期	1,686,154 株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	157,875 株	2022年3月期	157,875 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,528,279 株	2022年3月期1Q	1,528,409 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症防止策への取り組みや各種政策の効果もあり、経済社会活動の正常化が進む中で、景気が持ち直していくことが期待されております。一方で、ウクライナ情勢の長期化や原材料価格の高騰、感染症変異株再拡大への懸念などを要因に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、原材料・物流コストの高騰、急速な円安進行といった外部要因の影響は続いているものの、環境意識の高まりから紙製品事業は好調に推移いたしました。また、行動制限等の緩和で人流回復が進んだことによる来店型事業における紙製包装資材需要、コロナ禍におけるオンライン消費活動が定着したことによる宅配資材需要は、今後さらに増加していくものと期待されます。

このような環境のもと、2021年6月30日に公表した中期経営計画『次世代パッケージ企業への転換』に掲げる『環境対応と成長基盤確立のための3ヵ年～本気の変革～』を基本方針として、「コスト削減」、「不採算事業の改善」、「新規事業の発掘」、「業務フローの効率化」、「組織・人員の見直し」などに取り組み、引き続き環境戦略の強化、構造改革の徹底及び事業の見極めに努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,780百万円（前年同四半期比3.0%減）、営業損失67百万円（前年同四半期は営業損失195百万円）、経常損失69百万円（前年同四半期は経常損失177百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失66百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失139百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、9ページ「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用156百万円を配分する前の金額であります。

#### 「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、環境意識の高まりから、主力の角底袋、宅配袋、手提袋、紙器の販売数量・金額増加などにより、売上高は前年同期に比べ500百万円増加して2,844百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は生産利益や仕入品の粗利益額が増加し、販売管理費が増加したものの、前年同期に比べ94百万円増加して138百万円となりました。

#### 「化成品事業」

化成品事業につきましては、レジ袋有料化の影響により、主力のレジ袋、ポリ宅配袋の販売数量・金額減少などにより、売上高は前年同期に比べ557百万円減少して1,423百万円となりました。セグメント損益（営業損益）は売上高減少に加えて調達コストの上昇や円安の影響等により粗利益額が減少したものの、販売管理費が減少したことから、前年同期に比べ26百万円増加して67百万円の損失となりました。

#### 「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、前期需要が旺盛であった新型コロナウイルス感染拡大を背景とした清掃用品の売上が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ120百万円減少して1,511百万円となりました。品目ごとの販売構成では、清掃用品が減少し、包装用品、事務用品及びS V S商品が増加しております。セグメント利益（営業利益）は粗利益額が減少したものの、販売管理費が減少したことから、前年同期に比べ微減の、17百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ425百万円減少して13,353百万円となりました。流動資産は、棚卸資産が208百万円増加、前払費用が86百万円増加した一方、現金及び預金が531百万円減少、電子記録債権が140百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ397百万円減少の8,970百万円となりました。固定資産は、設備投資等により46百万円増加した一方、減価償却で65百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ28百万円減少の4,382百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ374百万円減少して10,950百万円となりました。これは、賞与引当金が96百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が162百万円減少、電子記録債務及び設備電子記録債務が150百万円減少、短期借入金及び長期借入金が156百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少して2,402百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失計上により66百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の17.7%から17.9%になりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の数値に変更はありません。

また、2023年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,351	1,819
受取手形	258	193
売掛金	3,297	3,342
電子記録債権	840	700
商品及び製品	1,770	1,950
仕掛品	281	328
原材料及び貯蔵品	420	402
その他	146	233
流動資産合計	9,367	8,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,541	4,541
減価償却累計額	△3,830	△3,841
建物及び構築物(純額)	711	700
機械装置及び運搬具	8,249	7,619
減価償却累計額	△7,641	△7,025
機械装置及び運搬具(純額)	607	593
土地	644	644
リース資産	556	557
減価償却累計額	△341	△348
リース資産(純額)	215	208
建設仮勘定	11	34
その他	673	447
減価償却累計額	△651	△427
その他(純額)	22	20
有形固定資産合計	2,212	2,201
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	3	2
その他	28	25
無形固定資産合計	47	43
投資その他の資産		
投資有価証券	1,349	1,317
破産更生債権等	0	0
事業保険金	84	84
差入保証金	125	133
退職給付に係る資産	487	487
繰延税金資産	56	71
その他	48	44
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,151	2,138
固定資産合計	4,411	4,382
資産合計	13,779	13,353

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,934	2,771
電子記録債務	2,624	2,455
短期借入金	1,260	1,388
リース債務	99	99
未払金	433	477
未払法人税等	41	22
未払消費税等	28	49
契約負債	24	5
賞与引当金	171	267
設備関係支払手形	—	0
設備関係電子記録債務	17	35
設備関係未払金	23	30
その他	117	113
流動負債合計	7,777	7,717
固定負債		
長期借入金	2,480	2,196
リース債務	365	346
役員退職慰労引当金	51	28
退職給付に係る負債	649	661
固定負債合計	3,547	3,233
負債合計	11,325	10,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,409	1,409
利益剰余金	△367	△433
自己株式	△263	△263
株主資本合計	2,153	2,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	94
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	123	144
退職給付に係る調整累計額	58	62
その他の包括利益累計額合計	287	301
非支配株主持分	12	13
純資産合計	2,453	2,402
負債純資産合計	13,779	13,353

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	5,958	5,780
売上原価	4,952	4,767
売上総利益	1,005	1,012
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	586	552
給料及び手当	371	286
賞与引当金繰入額	36	47
退職給付費用	18	14
賃借料	43	40
旅費及び交通費	14	18
その他の経費	130	120
販売費及び一般管理費合計	1,201	1,079
営業損失(△)	△195	△67
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	11
貸倒引当金戻入額	3	—
持分法による投資利益	9	14
受取賃貸料	3	1
作業くず売却益	0	0
受取保険金	—	0
その他	7	1
営業外収益合計	46	29
営業外費用		
支払利息	23	21
為替差損	1	8
賃貸費用	1	0
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	1	0
営業外費用合計	28	31
経常損失(△)	△177	△69
特別利益		
固定資産売却益	5	1
リース債務解約益	—	0
役員退職慰労引当金戻入額	10	—
助成金収入	33	1
特別利益合計	49	2
特別損失		
固定資産除却損	3	0
固定資産売却損	9	—
リース資産除却損	1	—
特別損失合計	14	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△142	△66
法人税、住民税及び事業税	10	11
法人税等調整額	0	△10
法人税等合計	10	0
四半期純損失(△)	△153	△66
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139	△66

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△153	△66
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△11
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	46	12
退職給付に係る調整額	5	4
持分法適用会社に対する持分相当額	3	9
その他の包括利益合計	71	15
四半期包括利益	△81	△51
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△75	△52
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	1,893			1,893	—	1,893
紙器	252			252	—	252
その他紙製品	198			198	—	198
ポリ袋		1,323		1,323	—	1,323
その他化成品		657		657	—	657
その他商品			1,632	1,632	—	1,632
顧客との契約から生じる 収益	2,344	1,981	1,632	5,958	—	5,958
外部顧客への売上高	2,344	1,981	1,632	5,958	—	5,958
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,344	1,981	1,632	5,958	—	5,958
セグメント利益又は損失(△)	43	△93	17	△32	△163	△195

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△163百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	2,363			2,363	—	2,363
紙器	263			263	—	263
その他紙製品	217			217	—	217
ポリ袋		1,078		1,078	—	1,078
その他化成品		344		344	—	344
その他商品			1,511	1,511	—	1,511
顧客との契約から生じる 収益	2,844	1,423	1,511	5,780	—	5,780
外部顧客への売上高	2,844	1,423	1,511	5,780	—	5,780
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,844	1,423	1,511	5,780	—	5,780
セグメント利益又は損失(△)	138	△67	17	88	△156	△67

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△156百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。